

令和7年度全国学校保健・安全研究大会 開催要項

1 趣 旨

近年の社会環境や生活環境の急激な変化は、子供の心身の健康に大きな影響を与えており、肥満・痩身、生活習慣の乱れ、メンタルヘルスの問題、アレルギー疾患、薬物乱用など、子供たちが抱える健康課題は複雑化・多様化している。心身の不調の背景には、いじめや貧困などの問題が関わっていることもあり、子供たちに対する、より一層のきめ細かな対応が求められている。

また、各地で頻発する自然災害の他、登下校中を含めた事件・事故や学校への不審者侵入、SNS等の利用による犯罪など、子供達の安全を脅かす様々な事案が顕在化している。

これらの課題解決を図るために、学校全体として学校保健・学校安全に取り組む校内の組織体制を整備するとともに、学校・家庭・地域が一体となり、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育む教育を推進していく必要がある。

本大会は多年にわたる研究成果を踏まえ、生涯を通じて心豊かにたくましく生きる子供の育成をめざして、諸課題について研究協議を行い、学校保健・学校安全の充実発展に資するものである。

2 主 題

生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進

～急速に変化する社会の中で、主体的に健康課題の解決に取り組む子供の育成～

3 主 催

文部科学省、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、
公益財団法人日本学校保健会、神奈川県学校保健連合会

4 期 日

令和7年11月20日（木）・21日（金）

5 開催方法

収集開催及び後日オンデマンド配信

※オンデマンド配信は、「記念講演」と「課題別研究協議会」のみ配信

6 開催地及び会場

開 催 地 神奈川県横浜市

会 場 横浜武道館（1日目）、パシフィコ横浜ノース（2日目）

7 内 容

(1) 全体会

- ・開会式
- ・表彰式

学校保健・学校安全の功労者に対する文部科学大臣表彰を行う。

- ・記念講演

講演内容 「現代的な健康課題の解決に向けた学校保健・安全の体制づくりをめざして」

講 師 横浜国立大学・教育学部 教授 物部 博文 氏

(2) 課題別研究協議会（別表）

10 課題について、課題別に研究発表、研究協議、指導助言及び講義を行う。

(3) 全国学校保健会中央大会

8 日程及び内容

【1日目】11月20日（木）

11:30	12:00	12:30	13:00	14:00	14:30	16:00
		一般参加者 受付		休憩		
受賞者 受付	受賞者 打合せ		【開会式】 【表彰式】	【受賞伝達式】		【記念講演】

【2日目】11月21日（金）

9:00	9:30	12:00	13:00	15:30
受付	【課題別研究協議会】（5課題）	昼食 休憩	【課題別研究協議会】（5課題） 全国学校保健会中央大会	

9 参加対象者

- 幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の校（園）長、副校（園）長、教頭、主幹教諭、保健主事、養護教諭、保健体育科教諭、安全担当、その他の教職員
- 学校医、学校歯科医、学校薬剤師
- 教育委員会の学校保健、学校安全関係職員
- 学校保健会事務局の職員
- P T A会員、その他都道府県・指定都市・中核市教育委員会で適當と認めた者

10 資料代 3,500円 ※参加形態を問わず一律

11 関係団体が主催する行事

- 第 56 回全国学校保健・学校医大会 令和 7 年 11 月 22 日（土）
- 第 75 回全国学校歯科医協議会 令和 7 年 11 月 20 日（木）
- 第 75 回全国学校薬剤師大会 令和 7 年 11 月 20 日（木）

12 全体会及び課題別研究協議会・全国学校保健会中央大会会場

【1日目】令和7年11月20日（木）全体会・受賞伝達式

内 容	会 場
全体会（開会式・表彰式・記念講演）	横浜武道館 アリーナ
受賞伝達式（学校保健表彰）	横浜武道館 アリーナ
受賞伝達式（学校安全表彰・ 学校安全ボランティア活動奨励賞）	横浜武道館 武道場

【2日目】令和7年11月21日（金）課題別研究協議会・全国学校保健会中央大会
<午前の部> 9:30～12:00（9:00開場）

内 容	会 場
第1課題（学校経営と保健組織活動）	パシフィコ横浜ノース4F G401
第3課題（心の健康）	パシフィコ横浜ノース1F G3
第5課題（歯・口の健康づくり）	パシフィコ横浜ノース4F G403
第7課題（喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育）	パシフィコ横浜ノース1F G4
第9課題（教科等における安全教育）	パシフィコ横浜ノース4F G402

<午後の部> 13:00～15:30

内 容	会 場
第2課題（保健管理）	パシフィコ横浜ノース1F G4
第4課題（現代的健康課題）	パシフィコ横浜ノース1F G3
第6課題（学校環境衛生）	パシフィコ横浜ノース4F G401
第8課題（学校事故防止対策）	パシフィコ横浜ノース4F G403
第10課題 (関係機関等との連携による安全の体制整備)	パシフィコ横浜ノース4F G402
全国学校保健会中央大会	パシフィコ横浜ノース4F G404

※参加希望人数等により、会場を変更する場合があります。

13 大会会場へのアクセスについて



鉄道利用

横浜市営地下鉄	伊勢佐木長者町駅 1・2番出口より徒歩8分
J R (在来線)	関内駅南口より徒歩7分
J R 新横浜駅	横浜市営地下鉄「ブルーライン」伊勢佐木長者町駅まで約19分

航空機利用

羽田空港	京浜急行 横浜市営地下鉄「ブルーライン」 J R「京浜東北・根岸線」	羽田空港 → 横浜 横浜 → 伊勢佐木長者町 横浜 → 関内
------	--	--------------------------------------

タクシー利用

J R 新横浜駅	J R 新横浜駅からタクシー約30分
----------	--------------------

横浜武道館 : <https://www.yokohama-budokan.com/>



鉄道利用

みなとみらい線	みなとみらい駅 2番出口 (いちょう通り口) より徒歩 5 分
横浜市営地下鉄	桜木町駅より徒歩 17 分
J R (在来線)	桜木町駅北口より徒歩 17 分
J R 新横浜駅	横浜市営地下鉄「ブルーライン」桜木町駅まで約 17 分

航空機利用

羽田空港	京浜急行	羽田空港 → 横浜
	みなとみらい線	横浜 → みなとみらい
	横浜市営地下鉄「ブルーライン」	横浜 → 桜木町
	J R 「京浜東北・根岸線」	横浜 → 桜木町
	リムジンバス	羽田空港 → パシフィコ横浜

タクシー利用

J R 新横浜駅	J R 新横浜駅からタクシー約 30 分
----------	----------------------

パシフィコ横浜ノース : <https://www.pacifico.co.jp/guide/north>

【別表】 令和7年度全国学校保健・安全研究大会 課題別研究協議会

課題	研究協議題	研究協議題設定の趣旨	研究協議の内容
第1課題	学校経営と保健組織活動	心豊かにたくましく生きる力を育むための特色ある学校経営と組織活動の進め方 心豊かにたくましく生きる力を育てるためには、児童生徒の発達の段階を考慮して学校教育活動全体で取り組む必要がある。 そのため、学校経営の進め方と保健主事等の果たす役割並びに学校、家庭及び地域社会が一体となった組織活動の効果的な取組について協議する。	① 健康教育を中核とした学校経営の進め方について ② 保健主事を核として推進する健康教育の進め方について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した学校保健委員会の効果的な取組について
第2課題	健康管理	生涯を通じて健康の保持増進を目指す学校、家庭及び地域との連携を図った保健管理の進め方 生涯にわたり心身ともに健康な生活を送るためには、ヘルスプロモーションの理念を生かし、学校や地域の実態、個々の子供に応じた対応を図る必要がある。 そのため、学校での適切な保健管理の進め方について協議する。	① 適切な健康診断の実施と事後措置の進め方並びに結果の活用について ② ヘルスプロモーションの考え方を生かした指導や保健管理の進め方について ③ 感染症・食中毒等の予防及び発生時の対応について
第3課題	心の健康	豊かな人間性と社会性を育み、心の健康の保持増進を目指す教育の進め方 自然災害や重大な事件・事故の発生に伴う子供の心のケアや、友人や家族などの人間関係の悩みなど、メンタルヘルスに関する問題が多様化している中、これらの問題への適切な対応が求められている。 そのため、心の健康づくりを目指した教育活動や校内外の組織体制づくりの進め方について協議する。	① 児童生徒の課題に即した心のケアや健康相談の進め方について ② 心の健康づくりを目指した教育活動の展開と環境整備等の進め方について ③ 学校、家庭及び地域の関係機関との連携を図った心のケアの進め方について
第4課題	現代的健康課題	多様化する現代的健康課題に適切に対応するための保健活動の進め方 現代的な健康課題への対応にあたり、年齢や生活環境などに応じて、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要がある。 そのため、生涯にわたり健康を保持増進するための望ましい生活習慣づくりに関する指導の進め方について協議する。	① 発達の段階に応じた望ましい生活習慣づくりの進め方について ② 各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等との関連を図った指導の進め方について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した望ましい生活習慣づくりに関する指導の進め方について
第5課題	歯・口の健康づくり	生涯にわたる健康管理の基盤となる歯・口の健康づくりの進め方 生涯にわたる健康づくりを実践するためには、自分の歯や口の健康に関心をもち、自分の課題を把握し、解決していくことができる資質や能力を育てることが大切である。 そのため、歯・口の健康づくりを目指した学校歯科保健活動の進め方について協議する。	① 歯科健康診断の効果的な実施と結果等を活用した健康教育の実施について ② 各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等との関連を図った指導計画の作成、実施、評価及び改善について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した学校歯科保健活動の進め方について

課題		研究発表者	講師・指導助言者(コーディネーター)
第1課題	学校経営と保健組織活動	① 群馬県立玉村高等学校 養護教諭 橋本美紀	○講師 日本女子体育大学 教授 横嶋剛
		② 岩手県二戸市立福岡中学校 養護教諭 星合麻結	○指導助言者(コーディネーター) 高島市教育委員会 教育指導部学校教育課 主監 中原いずみ
		③ 横浜市立本牧南小学校 養護教諭 宇野美奈子	
第2課題	保健管理	① 東京都中央区立久松小学校 主任養護教諭 知久奈保子	○講師 九州看護福祉大学 准教授 松崎美枝
		② 群馬県立赤城特別支援学校 校長 町田英之	○指導助言者(コーディネーター) 相模原市教育委員会 教育局支援教育課 指導主事 小野響子
		③ 神奈川県立光陵高等学校 養護教諭 片平美穂子	
第3課題	心の健康	① 神奈川県綾瀬市立北の台中学校 養護教諭 関口瑞恵	○講師 あさかホスピタル 院長 水野雅文
		② 市立札幌開成中等教育学校 教諭 井上慶太	○指導助言者(コーディネーター) 福岡県教育庁 教育振興部体育スポーツ健康課 指導主事 内田郁美
		③ 埼玉県入間市立扇小学校 養護教諭 青木真知子	
第4課題	現代的健康課題	① 神奈川県三浦市立上宮田小学校 養護教諭 村中みづき	○講師 愛知教育大学 准教授 山田浩平
		② 千葉市立養護学校 教諭 岡田直子	○指導助言者(コーディネーター) 岡山市教育委員会 学校教育部保健体育課 課長補佐 寺尾知浩
		③ 東京都八王子市立横山中学校 養護教諭 伊藤千賀子	
第5課題	歯・口の健康づくり	① 千葉県立特別支援学校流山高等学園 養護教諭 須田浩美	○講師 明海大学 名誉教授 安井利一
		② 埼玉県川口市立安行中学校 養護教諭 三ツ井有希	○指導助言者(コーディネーター) 山梨県教育庁保健体育課 課長 山本晃司
		③ 神奈川県箱根町立箱根の森小学校 総括教諭 大坂屋恵美子	

課題	研究協議題	研究協議題設定の趣旨	研究協議の内容	
第6課題	学校環境衛生	快適な学校環境づくりを目指す学校環境衛生活動の進め方	<p>快適な学習環境を作るためには、環境衛生活動の充実を図るとともに、教職員及び児童生徒が学校における環境衛生について関心を持つことが必要である。</p> <p>そのため、学校環境衛生基準を踏まえた学校環境衛生活動の進め方について協議する。</p>	① 計画的・組織的な学校環境衛生活動の実施と事後措置について ② 学校環境衛生管理の徹底を図るための取組について ③ 学校薬剤師との連携による学校環境衛生の取組について
第7課題	喫煙、防飲酒、教育薬物乱用	安全で豊かな社会と健康を守り育てるための喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方	<p>近年、青少年の喫煙や飲酒、薬物乱用が広がりをみせ、依然として深刻な状況にあることから、安全で豊かな社会と自らの健康を守り育てるための教育を充実する必要がある。</p> <p>そのため、発達の段階に即し、喫煙や飲酒、薬物乱用の防止教育を推進する方法について協議する。</p>	① 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育に関する指導計画の作成、実施、評価及び改善について ② 小、中、高等学校における喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方について
第8課題	学校事故防止対策	事件や事故、災害を未然に防ぐ事前の危機管理や発生時の適切な対応について	<p>学校事故を未然に防ぐためには、日本スポーツ振興センター災害共済給付データを活用した事故分析手法を各学校で生かすとともに、同センターの調査研究についての理解を深める必要がある。</p> <p>また、事故検証やそれに基づいた再発防止策の立案と実施、継続、情報発信等の方法について協議する。</p>	① 日本スポーツ振興センターの災害共済給付データを活用した安全対策について ② 事件や事故、災害の検証に基づいた再発防止対策の在り方について ③ 事件や事故、災害発生時の適切な対応の在り方について
第9課題	教科等における安全教育	発達の段階に応じた効果的な安全教育について	<p>生涯にわたり安全な生活を送るためにには、自他の生命尊重の理念を基盤として、進んで安全で安心な社会づくりに貢献できる資質や能力を育成する必要がある。</p> <p>そのため、発育発達の段階における特徴を考慮しつつ、効果的な安全教育の進め方について協議する。</p>	① 安全で安心な社会づくりへの参画を意識し、自らの責任を自覚して行動する児童生徒の育成について ② 的確な判断のもと主体的に行動し、地域の安全活動等に参加する児童生徒の育成について ③ 自らの安全を守るために主体的に行動し、他の人々の安全にも気配りができる児童生徒の育成について
第10課題	関係機関等との連携による安全の体制整備	学校・家庭・地域等が連携した効果的な安全体制整備の在り方について	<p>学校安全体制を充実させるためには、組織体制を整備するとともに、関係機関や地域ボランティア等との連携を深めることが重要である。</p> <p>そのため、学校、家庭及び地域社会等が連携した効果的な安全体制整備や安全確保方策の在り方について協議する。</p>	① 学校安全充実のための効果的な組織体制の在り方について ② 関係機関や地域ボランティア等との連携による防犯・交通安全の体制整備について ③ 関係機関や保護者・地域住民等との連携による災害安全の体制整備について

課題	研究発表者	講師・指導助言者(コーディネーター)
第6課題 学校環境衛生	① 川崎市立井田中学校 学校薬剤師 八鍬 広幸 ② 岐阜県教育委員会体育健康課 技術主査 坂井田 弥希 ③ 千葉県浦安市立舞浜小学校 養護教諭 佐藤 晃代 学校薬剤師 畠中 範子	○講師 東京薬科大学 教授 北垣 邦彦 ○指導助言者(コーディネーター) 東京都教育庁都立学校教育部 学校健康推進課 課長代理 片上 香織
第7課題 喫煙、防飲酒、教育薬物乱用	① 岡山市立中山中学校 養護教諭 松尾 由美恵 ② 相模原市立向陽小学校 学校薬剤師 神原 大輔 ③ 山梨県立白根高等学校 教諭 山田 耕二	○講師 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部心理社会研究室 室長 嶋根 卓也 ○指導助言者(コーディネーター) 大阪府立交野高等学校 校長 木場 恒樹
第8課題 学校事故防止対策	① 独立行政法人日本スポーツ振興センター 災害共済給仕事業部調査課 課長 谷 雅紀 ② 香川県教育委員会保健体育課 指導主事 増田 一仁 「子どもたちにライジャケを!」 代表 森 重裕二 ③ さいたま市小学校 養護教諭 鈴木 優	○講師 公益財団法人日本AED財団 理事 桐淵 博 ○指導助言者(コーディネーター) 広島市教育委員会 健康教育課 課長補佐 大庭 浩一
第9課題 教科等における安全教育	① 神奈川県横須賀市立夏島小学校 教諭 安井 望 ② 岐阜県飛騨市立古川中学校 校長 中村 裕幸 ③ 栃木県立大田原高等学校 教諭 加藤 信行	○講師 兵庫教育大学先端教職課程 カリキュラム開発センター 教授 濱野 清 ○指導助言者(コーディネーター) 宮城県教育庁保健体育安全課 課長補佐 安田 弘秋
第10課題 よる安全の体制整備による機関等との連携に	① 神奈川県立金沢支援学校 養護教諭 木村 裕子 ② 茨城県鹿嶋市立大同東小学校 教諭 関口 啓子 ③ 宮城県石巻市立桃生中学校 校長 和泉 千佳子	○講師 文部科学省CSマイスター 安田 隆人 ○指導助言者(コーディネーター) 宮崎県教育庁生涯学習課 指導主事 飯田 正